

# 人に寄り添うシステムの開発で よりよい明日を加速させる

## アクセルユニバース株式会社

### 採択テーマ ▶ 製造現場等での正確なピッキング作業を実現するシステムの開発

情報通信技術を使って万物の暮らしをよりよくすることに貢献し、それを加速させることを使命としている会社。主にWEBサイト及びコンピュータシステムの企画・開発・運営・提供・コンサルティングを行っている。AIなどを支える機械学習を使ったソリューションのリーディングカンパニーになることが、その長期ビジョンである。

### キーワード ▶ 機械学習・深層学習で世界を笑顔にする



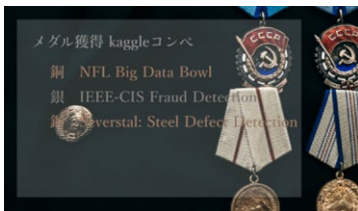
システム部：竹中 涼香さん



「機械学習・深層学習で世界を笑顔にする」をモットーとし、こうした学習をベースにしたシステムなどを提供する会社である。



大量のサンプルデータを元に入力と出力の関係を学習するのが機械学習。さらに、どのような特徴が学習に影響するかを自動で学習するシステムが深層学習である。



KaggleコンペNFL Big Data Bowl (アメフトのプレイヤーが何ヤード進められるかを予測するコンペ)で銅メダルを獲得したメダリストも在籍している。

### ◆ 複合現実ヘッドセットを活用した作業システムを開発

多くのスマートフォンアプリや業務システムを開発している同社では、この国を支える製造現場を後押しする、新たな開発を進めた。それは、複合現実ヘッドセットを活用したピッキング作業システムの開発である。ヘッドセットにインストールすることで、製造工程における部品や材料のピッキング作業時に、作業内容や作業箇所をビジュアル的に指示。多くの部品が置いてある棚から、必要なものを確実に取ることをサポートするとともに、作業の実施内容を自動で記録するシステムである。この開発において、革新的サービスの事業化支援を受けた。

### ◆ 顧客の課題解決につながるさまざまな開発を推進

事業化支援の期間中には、複合現実ヘッドセットの本体がバージョンアップされたため、ピッキング作業システムもそれに合わせて改修するなど、苦勞も多かった。だが、このシステムによって、都内をはじめとする製造業者の作業効率が一段と向上することを思えば、苦勞のしがいもある。また、さらに応用の利く可能性が高く、将来的に他事業にも展開できれば、新たな雇用の創出などにつながるかもしれない。代表取締役の山根太郎さんは「これからも自分たちの技術が、さまざまな場面でお客様の課題解決につながったらうれしいです」と前を向く。

### ◆ 常にヒューマンな視点のある技術やシステムを明日へ

新型コロナウイルスの影響を受けてストップした面もあるが、今後はさらにサービスの完成度を高めていく予定だ。システム部の竹中涼香さんは「私は、当社がITの技術だけの会社ではなく、人がいてこそ会社だという経営理念に共感して入社しました。今回新たに開発したシステムもそうですが、今までできなかったことができるようになると感動を覚えます。このシステムを導入することで、今まであった人のミスを減らしながら、人に寄り添うことのできるしくみとして上手くいくとうれしいですね」と、同社らしいヒューマンな視点で語った。



支援期間中はバージョンアップへの柔軟な対応もでき、当初の予定からさらに一歩進んだことは評価できます。当社が得意とする技術を生かした製造分野への貢献ですが、今後さらに幅広く活用できるベーシックなシステムとなる可能性もあり、期待されます。

### 会社概要

所在地 ● 東京都渋谷区渋谷3-6-1 イースト渋谷ビル7F TEL ● 03-6450-5258 URL ● <https://www.acceluniverse.com>  
代表取締役 ● 山根 太郎 設立 ● 2012年2月 資本金 ● 4,750万円